

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公開番号】特開 2002-94977 (P2002-94977A)

【公開日】平成 14 年 3 月 29 日 (2002.3.29)

【出願番号】特願 2000-279852 (P2000-279852)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 13/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 J

H 0 4 N 7/18 K

G 0 6 T 1/00 3 3 0 B

G 0 6 T 1/00 4 5 0 B

G 0 6 T 3/00 2 0 0

H 0 4 N 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置および画像処理システム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カメラと、

前記カメラからの撮像信号のうち所定の部分のみを選択し、選択された撮像信号のみをメモリに書き込む選択書込み手段を有する画像処理装置と、を備え、

前記画像処理装置は、

前記カメラの光軸のずれ量を保持する保持手段と、

前記保持手段に保持された前記カメラの光軸のずれ量に基づいて、前記選択書込み手段で選択する前記所定の部分をシフトさせる制御手段と、を備えることを特徴とする画像処理システム。

【請求項 2】 カメラからの撮像信号のうち所定の部分のみを選択し、選択された撮像信号のみをメモリに書き込む選択書込み手段と、

前記カメラの光軸のずれ量を保持する保持手段と、

前記保持手段に保持された前記カメラの光軸のずれ量に基づいて、前記選択書込み手段で選択する前記所定の部分をシフトさせる制御手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は画像処理装置、特に車両に搭載され車両の周辺の道路状況等をビデオカメラにて監視するのに適した画像処理装置および画像処理システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

したがって本発明の目的は上記問題点に鑑み、メモリが有すべきメモリ容量を少なくし、また、画像処理速度を低下させずに光軸ズレの補正が行える画像処理装置および画像処理システムを提供することを目的とするものである。